

# 令和 5年度予算見積調書

課室名：みどり自然課  
 担当名：野生生物担当  
 内線：3154

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業		
P35	森林保全対策・「森の番人」育成事業費		一般会計	総務費	環境費	自然保護対策費	鳥獣保護管理対策費		
事業期間	平成20年度～	根拠法令	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律		針路	10 豊かな自然と共生する社会の実現	SDGsゴール	15	
					分野施策	1003 生物多様性の保全	SDGsターゲット	15-1, 15-2, 15-3,	
1 事業の概要			5 事業説明						
近年、シカの生息数の増加や生息域の拡大に伴い、森林破壊が深刻化している。これを防止するためには、シカの捕獲を進める必要がある。 そこで、シカを捕獲し、「森の番人」としての役割を担う狩猟者の持続的な育成・確保を行い、森林の保全を図る。			(1) 事業内容 ア 新規担い手確保対策 鳥獣保護管理・狩猟免許制度講習会開催、狩猟免許試験講習会委託 5,644千円 イ 保護管理担い手研修会 ペーパーハンター研修会委託 2,570千円 ウ 共同捕獲実施研修 共同捕獲実践研修委託 2,149千円						
ア 新規担い手確保対策 5,644千円 イ 保護管理担い手研修会 2,570千円 ウ 共同捕獲実施研修 2,149千円			(2) 事業計画 ア 新規担い手確保対策 鳥獣保護管理・狩猟免許制度講習会：年1回、狩猟免許試験講習会：年15回 イ 保護管理担い手研修会 ペーパーハンター研修会：年4回 ウ 共同捕獲実施研修 他自治体と連携したニホンジカの実績的な捕獲研修：年2回（事前研修会：年1回）						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)			(3) 事業効果 ア 社会的な意義を自覚した若年層の狩猟免許保持者が増加することで、長期にわたって活動できる狩猟者が確保される。 イ 狩猟者の技術の向上により、シカ等の捕獲が安全でしかも効率的に実施できる。 ウ その結果、森林が保全される。						
3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用) (区分)林野行政費 (細目)鳥獣行政費 (細節)鳥獣行政費 (積算内容)鳥獣保護事業の実施等に関する事務			(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 経験豊かで指導力のある狩猟者を擁する一般社団法人埼玉県猟友会との連携により事業を実施する。						
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.3人=2,850千円									
予算額		財源内訳						一般財源	前年との対比
		繰入金							
決定額	10,363	10,363					0	△399	
前年額	10,762	10,762					0		

## 事業内訳書

事業名	森林保全対策・「森の番人」育成事業費			
単位事業名	新規担い手確保対策	予算額	5,644千円	

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	28	0	鳥獣保護管理、狩猟免許制度講習会講師謝金
旅費	2	0	狩猟免許試験講習会打合せ旅費
委託料	5,614	634	業務委託
合計	5,644	634	

単位事業名	保護管理担い手研修会	予算額	2,570千円
-------	------------	-----	---------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	56	56	保護管理担い手支援検討会講師謝金
旅費	4	△7	研修会打合せ旅費
需用費	330	144	研修教材用猟具等購入費
役務費	84	0	研修開催案内送付料

単位事業名	保護管理担い手研修会	予算額	2,570千円
-------	------------	-----	---------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	2,096	△866	業務委託
合計	2,570	△673	

単位事業名	共同捕獲実施研修	予算額	2,149千円
-------	----------	-----	---------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	38	△1	捕獲立会い旅費等
委託料	2,111	40	業務委託
合計	2,149	39	